

令和6年度成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)採択案件一覧

計画名	研究概要	主たる技術	事業管理機関名	主たる研究等実施機関 (本社所在地もしくは 主たる研究等実施場所)	主たる研究等 実施場所
循環経済に貢献する金属・樹脂の直接接合を可能とする革新的な精密制御プレス加工技術及び解体技術の開発	精密プレス技術による表面微細加工を高度化して、従来の接着剤を用いる樹脂と金属の接合工法を革新し、接着剤レスで接合する技術を開発する。これにより、自動車メーカー等からニーズのある射出成形・組立工程の、生産性の向上・環境負荷低減・環境規制への対応を実現する。また、循環経済に対応し、使用後の回収時に素材を分離しやすい易解体性構造とすると同時に、接合した部材を分離する技術の開発を行う。	接合・実装	公益財団法人鳥取県産業振興機構	株式会社田中製作所 (鳥取県鳥取市)	鳥取県
リサイクル性向上、製造時の環境負荷低減による脱炭素の実現と、快適で高機能な自動車シート部品の開発	アームレストにおいては「ばね力調整機構」を適用し品質向上とコストを実現する。またクッション材の「分割嵌め合い構造化」によりリサイクル性を向上する。ヘッドレストにおいては「機構設計技術」を用い溶接からカシメへの工程変更による締結力低下を補完し環境負荷CO2及びコストの低減を実現する。また今後のニーズが高い調整式ヘッドレストに対して「クサビロック機構」を適用し部品点数削減及びコスト低減を実現する。	デザイン開発	公益財団法人岡山県産業振興財団	備前発条株式会社 (岡山県岡山市)	岡山県
抗炎症食品としてのSAC高含有ニンニク粉末の開発	発酵及び酵素反応によりニンニクの抗炎症機能成分であるS-アシルシステイン(SAC)の高含有化技術を開発して実用化する。また、見出したSACによる精神的疲労感(脳内炎症)の軽減効果を足掛かりに、脳内での抗炎症メカニズムの解明、SACの脳内への到達、加えて認知機能改善効果を明らかにし、機能性表示食品化を目指す。さらに全身の抗炎症メカニズムを解明し、老化抑制機能を有する食品の開発も行う。	バイオ	公益財団法人岡山県産業振興財団	備前化成株式会社 (岡山県赤磐市)	岡山県
常温動作・低消費電力により水素社会の安全安心を実現する超薄膜型白金水素センサの開発	2050年のカーボンニュートラルに向け水素利活用が進められおり、安全で低コスト・低電力な水素センサが要望されている。当社グループは、加熱を必要としない世界初の超薄膜白金による常温・超低電力水素検知技術を基に、-40~100°Cの自動車環境下においても高い性能、信頼性を実現するデバイス構造、防水技術、環境温度補償技術を開発し、10年以上使用可能な高い信頼性と、水素社会に向けた安全・安心を実現する	測定計測	公益財団法人ひろしま産業振興機構	株式会社テクニスコ (広島県呉市)	広島県